

京都市立呉竹総合支援学校

後期学校評価について

平成29年2月24日

～後期「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました～

アンケート等から、後期の学校評価の分析結果を報告させていただきます。

紙面の都合上、保護者と教職員のアンケート結果のみを掲載し、教職員と保護者全体のアンケート結果を比べたグラフと、児童生徒のアンケート結果のグラフはホームページに掲載させていただきます。

この結果につきましては、全教職員に周知するとともに、2月14日の学校運営協議会において報告し、委員の皆様からご意見を頂戴しました。いただいたご意見を参考にして、全校で課題の改善に取り組んでまいります。

学年だよりや呉竹だより、学校ホームページで取組の内容や成果についてお知らせしてまいります。ご不明な点がありましたら、担任を通して学校までお問い合わせください。

本年度の学校教育目標と目指す児童生徒像を掲載させていただきますので、ご参照ください。

◎実施 平成29年1月

◎方法 各項目について「実現度」を4段階で回答。

◎回答率

	保護者	児童生徒	教職員
回答数	157	92	107
回答率	76.6%	44.4%	81.1%

* 1家庭に1枚配布

◎アンケート結果等より

◆元気に挨拶する

「自分なりのしかたで挨拶をしている」という項目では、前期より若干低くなっていますが、児童生徒の95.2%が肯定的な回答（そう思う、どちらとといえばそう思う：以下同じ）しています。

挨拶の一言は生活の中で潤滑油のような役割をしていると思います。お互いに、気持ちよく生活をしていくためにも、自然と言葉が出るような環境にしていきたいと思います。2月には、前期に引き続き、児童生徒会を中心とした「あいさつ運動」を実施します。挨拶をして気持ちいい一日を迎えたり、いろいろな学部の児童生徒が交流を深めて、豊かな人間関係を養ったりすることを目指して、引き続き、こうした活動に取り組んでいきたいと思っています。

◆丈夫な身体を作る

「わたしは、児童生徒が健康について意識できるように取り組んでいる（「しんどい」ことを伝える、薬を飲む、体力づくり等）」の項目では、保護者全体での肯定的な回答の割合が、前期に比べて若干増えていました。また、「児童生徒は、規則正しい生活を送っている」の項目では、保護者全体での肯定的な回答の割合が、前期に比べて若干低くなっており、「そうしようと努めているが、本人の症状があり、そうしたくても難しい時が多い」とのご意見もありました。家庭では取り組みにくいことであるでしょうし、学校だけ、家庭だけでの取組では、児童生徒の身につけにくいものです。今後も、家庭と学校で連携して取り組んでいきたいと思っています。



◆人を大切にし 共に生きる

児童生徒の「友達と仲良くしている」の項目の肯定的な回答は、前期とほぼ同じでした。また、保護者から、「下級生に一言、どうしたの？と聞いてみたりして生徒同士が仲良いと思います。又、知っている生徒さんがおられたら一言声かけしている場面も見られました」というご意見を頂きました。学部を越えて、縦割りでの活動に取り組む中で学年や学部を越えて、友達のことを思うという気持ちが育ち、行動に出ているのだと思います。引き続き、こうした気持ちを育てていきたいと思っています。

「毎日学校に行くことが楽しい」の項目では、否定的な回答（どちらかと言えばそう思わない、そう思わない：以下同じ）の割合が、1.3%から4.4%に増えていました。教職員が児童生徒の変化や思いに気づけるようにするとともに、【丈

夫な身体を作る】の項の質問にあるような、しんどさを伝えられる関係を築いたり環境を整えたりしています。場合によってはスクールカウンセラーや心理相談担当の校医と連携するようにしています。しんどさを軽減することで、「学校に来て楽しかった」という気持ちをさらに高めていきたいと思います。

「わたしは、児童生徒が人と関わっていく上でのマナーやルールを身に付けられるようにしている」の項目では、保護者全体の実現度の肯定的な回答は79.7%で、前期より高くなっていますが、他の項目よりは低くなっています。本校では、高等部の自主通学と部分自主通学の生徒を対象に、前期と後期に、「ルール・マナー教室」を行っています。京都府警の少年サポートセンターの指導者やスクールサポーターを講師にお迎えして取り組んでいます。そうした取組の内容を保護者にもお伝えし、連携して取り組んでいきたいと思います。

◆役割を担い 役に立とうとする

「学校は、児童生徒の年齢や適性に応じた進路学習を行ったり、関係機関との連携をしたりしている」の項目や「保護者と学校が連携して、児童生徒の進路について考えている」の項目の保護者の実現度の肯定的な回答は、前期より少し高くなっていました。後期には、PTAの進路委員会が中心となり、PTA事業所見学会が実施され、多数の保護者が参加されました。また、前期に引き続き、「進路通信」を配布しています。こうしたことを通して、小学部の段階から、進路に関心をもたれるようになってきたのではないかと思います。また、教職員も、将来の姿やめざす姿を想定したり、保護者と話をしたりする際に、小学部の段階から、どのような進路先があるのか、といったことを知っておくことが必要だと考えられます。進路担当からの報告や研修、「進路通信」等を通して、さらに、教職員の進路に関する意識を高め、知識を深めていきたいと思います。

高等部になると実習も始まり、進路説明会や進路相談等も実施され、卒業後の進路にむけて保護者と教職員で話す機会も多くなることからこうした結果になったのだと考えられます。しかし、係活動や当番活動など小学部の時から、社会的・職業的自立に向けた能力や態度を育てていっていますし、全校対象に進路だよりを配布したりしています。引き続き、保護者と教職員とが連携して、学年に応じて、児童生徒の進



路について考えていけるようにしていきたいと思います。

◆願いや夢に向かって進む

保護者から、「生徒一人一人が1日何をするか知って行動する、わからなかったら先生に聞くといったことができていると思います」というご意見を頂きました。また、児童生徒の「学校の授業の内容がわかって活動している」の項目の肯定的な回答は98.8%で、「学校で学習したことは自分の役に立っている」の項目の肯定的な回答は95.6%で、どちらも前期より高くなっていました。児童生徒が、「何をするのか」をわかって活動でき、「できた」「やったー」と思えるような授業を行うことも、先の項で出てきた「学校に来て楽しかった」という思いにつながると思います。今後も、わかる授業を実践していくとともに、取組内容や児童生徒の様子について、保護者に伝えていきたいと思います。

◆興味や関心を広げ 心豊かに生きる

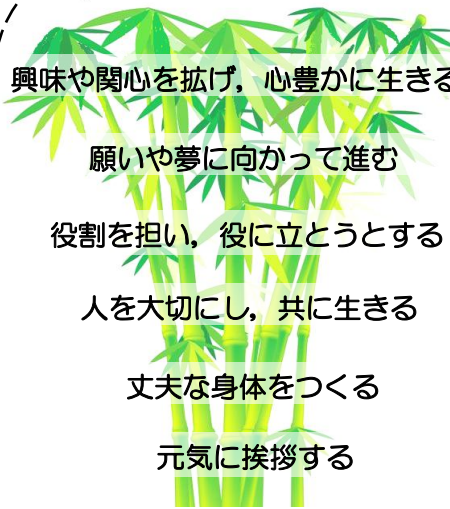
「放課後や休みの日に楽しく過ごしている」の項目では、児童生徒の肯定的な回答は94.5%で、前期よりも少し低くなっていました。「学校は、児童生徒の興味関心を広げ、個性を伸ばす授業をしている」「学校は、児童生徒の余暇活動につながる取組をしている」の項目では、保護者、教職員とも肯定的な回答の割合が前期より高くなっています。「児童生徒は、好きな活動や趣味をみつけて取り組んでいる」の項目では、高等部の保護者に比べて小学部、中学部の保護者の肯定的な回答の割合が低くなっています。年齢が低い間は「これは」というものをみつけにくく、体験を重ねていって自分の好きなこと、やりたいことを見つけていっているのだと思います。今後も、授業の中で、児童生徒の興味関心を広げていけるような取組をしていくとともに、いろいろな活動や経験の場の情報があればお伝えしていきたいと思います。



◆その他

保護者から、「学校のHPを見るのが日課のようになってきました。ほぼ毎日更新されていていつも楽しく拝見しています」というご意見を頂きました。また、「もう

少し個々の毎日の活動の様子がわかるようになってくれたらうれしいです。」と
 のご意見もありました。児童生徒の指導もあり、連絡帳の記入に多くの時間をと
 れないこともあり、詳細にお伝えできていないこともあるとは思いますが、各学
 部、連絡帳を通して学校での様子をお伝えしています。連絡帳だけでは伝えきれ
 ないことがあるような時は、電話や家庭訪問をさせていただき、連絡しています。
 今後も、保護者と学校で連携をとりながら取り組んでいきたいと思ひます。



興味や関心を拡げ、心豊かに生きる
 願いや夢に向かって進む
 役割を担い、役に立とうとする
 人を大切にし、共に生きる
 丈夫な身体をつくる
 元気に挨拶する
 「くらす・はたらく・たのしむ」

◎目指す児童生徒像

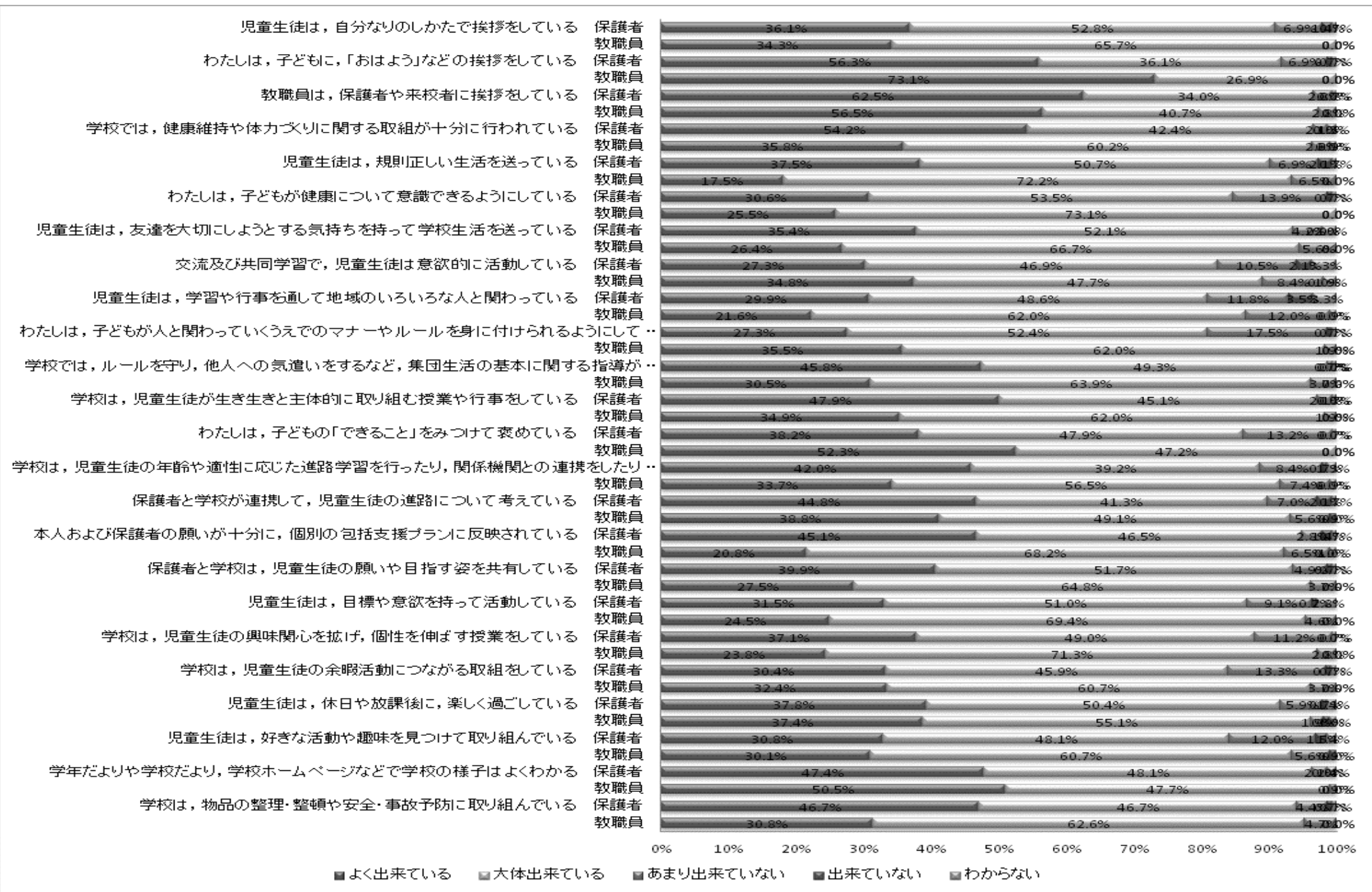
社会参加し、生き生きと活動したいという
 児童生徒の願いを実現するために、一人ひと
 りが力を発揮できる環境を整えるとともに、
 個々の可能性を最大限に伸ばす

◎平成28年度学校教育目標

◎分析結果										
・表は、実現度の「よく出来ている」と「大体出来ている」の回答を合わせた割合（%）を表示しています。										
質問項目	小学部		中学部		高等部		全体		教職員	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
◆元気に挨拶する										
・児童生徒は自分なりのしかたで挨拶をしている	83.4	87.5	82.2	87.9	90.0	89.9	86.5	88.9	93.4	100
・わたしは、子どもに「おはよう」等の挨拶をしている	97.3	93.8	94.0	97.0	90.1	89.9	92.7	92.4	99.1	100
・教職員は、保護者や来校者に挨拶をしている	100	96.9	87.9	90.9	98.8	98.7	96.6	96.5	99.1	97.2
◆丈夫な身体をつくる										
・学校では、健康維持や体力づくりに関する取組が十分に行われている	100	96.9	90.9	97.0	97.5	96.2	96.7	96.5	88.6	96.0
・児童生徒は、規則正しい生活を送っている	97.3	87.5	84.4	87.9	86.1	88.6	88.6	88.2	82.9	89.7
・わたしは、子どもが健康について意識できるように取り組んでいる（「しんどい」ことを伝える、薬を飲む、体力づくり等）	75.0	71.9	62.5	72.7	82.5	93.7	79.1	84.0	89.4	98.6

◆人を大切にし 共に生きる											
・児童生徒は、友達を大切にしようとする気持ちを持って、学校生活を送っている	72.9	78.1	75.1	75.8	90.0	96.2	82.6	87.5	88.6	93.1	
・交流及び共同学習で、児童生徒は意欲的に活動している（居住地校交流、桃山小学校・桃山中学校・銅駝美高との交流及び共同学習等）	73.0	81.3	56.0	66.7	79.2	74.4	67.3	74.1	76.0	82.4	
・児童生徒は、学習や行事を通して地域のいろいろな人と関わっている（地域の施設等での校外学習、実習等）	56.7	65.6	60.6	75.8	79.7	84.8	69.8	78.5	76.9	83.6	
・わたしは、子どもが人と関わっていく上でのマナーやルールを身に付けられるようにしている。	55.6	75.0	56.3	69.7	77.5	85.9	67.6	79.7	92.4	97.6	
・学校では、ルールを守り、他人への気遣いをするなど、集団生活の基本に関する指導が行われている。	94.6	100	84.8	93.9	92.4	93.7	91.3	95.1	92.5	94.4	
◆役割を担い 役に立とうとする											
・学校は、児童生徒が生き生きと主体的に取り組む授業や行事をしている	100	96.9	81.9	90.9	95.1	92.4	93.3	93.1	92.4	96.9	
・わたしは、子どもの「できること」をみつけて褒めている	89.2	81.3	78.8	84.8	80.0	88.6	82.0	86.1	97.1	99.6	
・学校は、児童生徒の年齢や適性に応じた進路学習を行ったり、関係機関との連携をしたりしている	70.2	78.1	66.7	72.7	91.3	85.9	80.7	81.1	82.9	90.1	
・保護者と学校が連携して、児童生徒の進路について考えている	72.9	81.3	64.6	75.8	91.9	92.3	81.0	86.0	87.3	87.8	
◆願いや夢に向かって進む											
・本人および保護者の願いが十分に、個別の包括支援プランに反映されている	97.3	100	90.3	87.5	93.3	89.7	93.7	91.5	87.3	89.0	
・保護者と学校は、児童生徒の願いや目指す姿を共有している	94.5	96.9	83.9	87.9	87.8	91.0	88.7	91.6	86.3	92.3	
・児童生徒は、目標や意欲を持って活動している	91.1	81.3	77.4	78.8	79.4	84.6	79.4	82.5	88.2	94.0	
◆興味や関心を広げ 心豊かに生きる											
・学校は、児童生徒の興味関心を広げ、個性を伸ばす授業をしている	89.1	96.9	61.3	81.8	89.2	83.3	83.1	86.0	89.2	95.1	
・学校は、児童生徒の余暇活動につながる取組をしている	56.7	68.8	74.2	74.2	74.3	80.6	69.0	76.3	85.3	93.1	
・児童生徒は、休日や放課後に、楽しく活動している	91.8	90.6	83.9	90.3	89.2	86.1	88.7	88.1	82.4	92.5	
・児童生徒は、好きな活動や趣味をみつけて取り組んでいる	78.3	74.2	70.0	71.0	82.4	84.5	78.7	78.9	84.2	90.8	
◆その他											
・学年だよりや学校だより、学校ホームページなどで学校の様子はよくわかる	89.2	100	93.5	93.5	90.3	94.4	90.7	95.6	98.0	98.1	
・学校は、物品の整理・整頓や安全・事故予防に取り組んでいる	94.6	93.8	83.8	90.3	95.9	94.4	93.0	93.3	87.4	93.4	

【保護者・教職員】



【児童生徒】

